

アグリいな 第50号

アグリいな風景 (収穫の秋)



水稲収穫

水稲の収穫は、9月24日の千里小児童によるヒメノモチに始まり、9月29日のあきたこまち、10月20日のひとめぼれとつづき、10月24日の天のつぶで無事終了することができました。コンバイン収穫のひとめぼれと天のつぶに倒伏はなく、順調に収穫作業が進みました。



そば収穫

10月26日に汎用型コンバインでそばの収穫を行いました。

今年のそばは、倒伏、強風による脱粒、スズメによる食害等があり、残念ながら低い収量となりました。



ハクサイ収穫

11月6日に優良堆肥の施肥試験で栽培しているハクサイの収穫を行いました。

調査結果については、12月発行の広報「アグリいな」でお知らせします。



エゴマの収穫・乾燥・調製

健康食ブームに乗って今大人気のエゴマ油を搾るエゴマの収穫・乾燥・調製作業を行いました。

収穫作業は、早生の白エゴマでは10月2日、晩生の黒エゴマでは10月26日に実施しました。収穫したエゴマをヒモで縛り、写真のような島立てにして乾燥させました。

乾燥させたエゴマを棒などでたたいてエゴマの実を落としますが、この段階では、多くのゴミが混ざっています。エゴマの実とゴミを分離するために、まず唐箕で葉や萼（ガク）などの軽いゴミを飛ばします。次に水を入れた大きな容器にエゴマを投入して土などの重いゴミを落とすとともに、エゴマの実に付着した汚れを落とします。これをネット（アルミサッシなど）上に広げて乾燥させ、最後に目視で異物を取り除いて、油を搾れるエゴマの完成品となります。



はさみなどで株元から刈り取る



束にして島立て乾燥



唐箕に掛けて軽いゴミを飛ばす



水洗いしてエゴマに付着したゴミを落とす

ヒメノモチの粃摺り・選別



10月16日に、千里小の児童が稲刈りをしたヒメノモチの粃摺り・選別を行いました。

まず、ハーベスターで脱穀した粃を揺動粃摺り機にかけ、排出された玄米をライスグレーダーで選別しました。

10aあたりの玄米収量は9俵弱で、一般農家並みの収量が得られました。

そばスプラウト（そばの新芽）の試作

そばの新芽が意外にいけるのをご存知ですか？

そばの新芽にも抗酸化作用や血流改善効果が認められるルチンが含まれています。

カイワレ大根の容器の底にクッキングペーパーを敷き、10月5日に殺菌したそばの種をまいて日の当たる室内に置いたところ、約10日で写真のようなそばスプラウトができました。

まだ試作の段階ですが、商品化に向けてさらに研究を進めてまいります。



カイワレ大根の容器で成長



根張りも良好



シャキシャキした歯ごたえ

お知らせ



出荷・販売等の証明書類を準備願います。

経営所得安定対策“水田活用の直接支払交付金”申請に伴い、対象作物毎の出荷・販売契約書の写し、販売伝票の写し等が必要となります。

なお、書類等に不足・不備があった場合には、交付金の返還となりますので、ご注意ください。

○お問い合わせ先：東北農政局福島支局会津若松庁舎 0242-28-2700
農林課農業振興係 0242-62-2116

第1回 猪苗代・美味しいお米コンテスト

「いなわしろ天のつぶ」のふるさと「猪苗代町」は、日照時間が長く、朝晩の寒暖の差が大きく、おいしいお米が生産される農産物の「ふるさと」。この「猪苗代町」で、さらにおいしいお米づくりを極めるために、お米コンテストを実施します。

審査部門は「いなわしろ天のつぶ」「いなわしろひとめぼれ」「その他のうるち米」の3部門です。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

○お問い合わせ先

農林課農業振興係 0242-62-2116

JA会津東部営農センター 0242-62-4211

「未来の夢たい肥」

○バラ堆肥（5.142円/kg）配達も出来ます。（300kg以上）

○小袋（10kg入り：123円）

○定休日：土・日・年末年始 ※JA あいづ東部営農センターで販売中

○お問い合わせ先：猪苗代町優良堆肥製造施設：0242-85-8810

アグリいな

（猪苗代町地域農業活性化センター）

猪苗代町坂下4527番地

TEL 0242-85-7816

（旧福島県農業試験場冷害試験地）

FAX 0242-85-7836

開所日 平日 8:30～17:00

Mail agriina@oregano.ocn.ne.jp